

御池沼沢ニュースレター

令和7年8月30日 Vol.138

7月30日に、天然記念物学習会「御池沼沢5つの謎を解き明かす～その自然の姿と守りかた～」を講師の富田啓介さん（愛知教育大学非常勤講師）をむかえて開催し、学びましたので報告します。

天然記念物学習会

「御池沼沢5つの謎を解き明かす」～その自然の姿と守りかた～

国指定天然記念物 御池沼沢植物群落の姿や保全の仕方について
5つの「なぜ」を解き明かしながら、楽しく学びます。

日 時	7月30日（水） 10:00～11:30（9:30 受付開始）		講 師 四日市市文化財保護審議会委員 里山湿地研究所代表 愛知教育大学非常勤講師 富田 啓介さん
場 所	四日市市総合会館7階 第2研修室		
定 員	40人程度（応募者多数の場合は抽選）		
対 象	小学5年生以上		

申込 名前、年齢、参加人数（1組2名まで）、住所、電話番号、メールアドレス（あれば）
を明記して申込フォームから。または、往復はがきにて文化課「天然記念物学習会」まで
7月17日（木）必着

天然記念物学習会申込

講師の富田啓介さんは、里山や湿地の研究と保全の支援の活動をされています。現在、四日市市文化財保護審議会委員でもみえます。里山湿地研究所代表を務められ、専門は地理学で、その分野の本を刊行されています。

「御池沼沢5つの謎」については以下の内容でした。

1. 御池沼沢はなぜ、ここにあるの？
2. 日本に御池沼沢のような湿地は、どれほどあるの？
3. 御池沼沢はなぜ、天然記念物なの？
4. 御池沼沢があると、どんなよいことがあるの？
5. 御池沼沢を守るには、どうしたらよいの？

5つの謎を地理学的観点から、興味深く学ぶことができました。御池沼沢のような湧水湿地は、日本の広範囲にわたってみられますが、特に東海地方・近畿地方・瀬戸内地方の丘陵地が中心になっています。三重県では、ここ北勢地域や伊賀地域の丘陵を中心に分布しています。御池沼沢植物群落の位置づけを列島規模で学ぶことができました。5の御池沼沢を守る点について、富田さんは「本来なかった外来種の除去」「他所からの移入（植え込み・播種・放流）は行わない」点を強調していました。日ごろ行っている御池沼沢環境保全活動の大切さを改めて認識することができました。



9月の活動予定 午前8時30分から

9月 17日（水） 東部指定地 ツルマメ・ミクリガヤ観察・除草

9月 20日（土）9:00～11:00 自然観察・保全体験会

※QRコードから応募できます。9/11が締め切りです。

